

2021年2月1日

腹膜透析をされている患者様で、これまでに腎性貧血治療薬として
HIF-PH 製剤（ロキサデュスタット）を開始された患者さんへ
【治療データ/CT 画像、心電図、超音波検査、眼底検査、検体（血液）
の調査研究への使用のお願い】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック 腎臓内科・腎血液浄化科では「腹膜透析患者を対象とした低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素（Hypoxia Inducible Factor Prolyl Hydroxylase : HIF-PH）阻害薬の腎性貧血に対する有効性に関する多施設共同後ろ向き研究」という臨床研究を行っております。この研究は、【腹膜透析患者の腎性貧血に対する、新たな治療選択肢として、HIF-PH 製剤（ロキサデュスタット）の有効性・安全性】を調べることを主な目的としています。そのため、HIF-PH 製剤（ロキサデュスタット）を開始された患者さんのカルテ等の治療データ/CT 画像、心電図、超音波検査、眼底検査、検体（血液）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は社会医療法人宏潤会大同病院倫理審査委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

承認日 ~ 2023年3月31日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに腎性貧血治療薬として HIF-PH 製剤（ロキサデュスタット）を開始された患者さんのカルテ、CT 画像、心電図、超音波検査、眼底検査、検体（血液）です。
 - 治療データ/CT 画像、心電図、超音波検査、眼底検査、検体（血液）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
 - 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
 - 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
 - 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニックに帰属し、あなたには帰属しません。
 - この調査研究は、社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック腎臓内科・腎血液浄化科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック 腎臓内科・腎血液浄化科 部長
研究責任者：志水
TEL：052-611-6261(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

